

お客さま本位の業務運営に関する取組状況

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づいて、下記のとおり成果指標(KPI)を公表いたします。

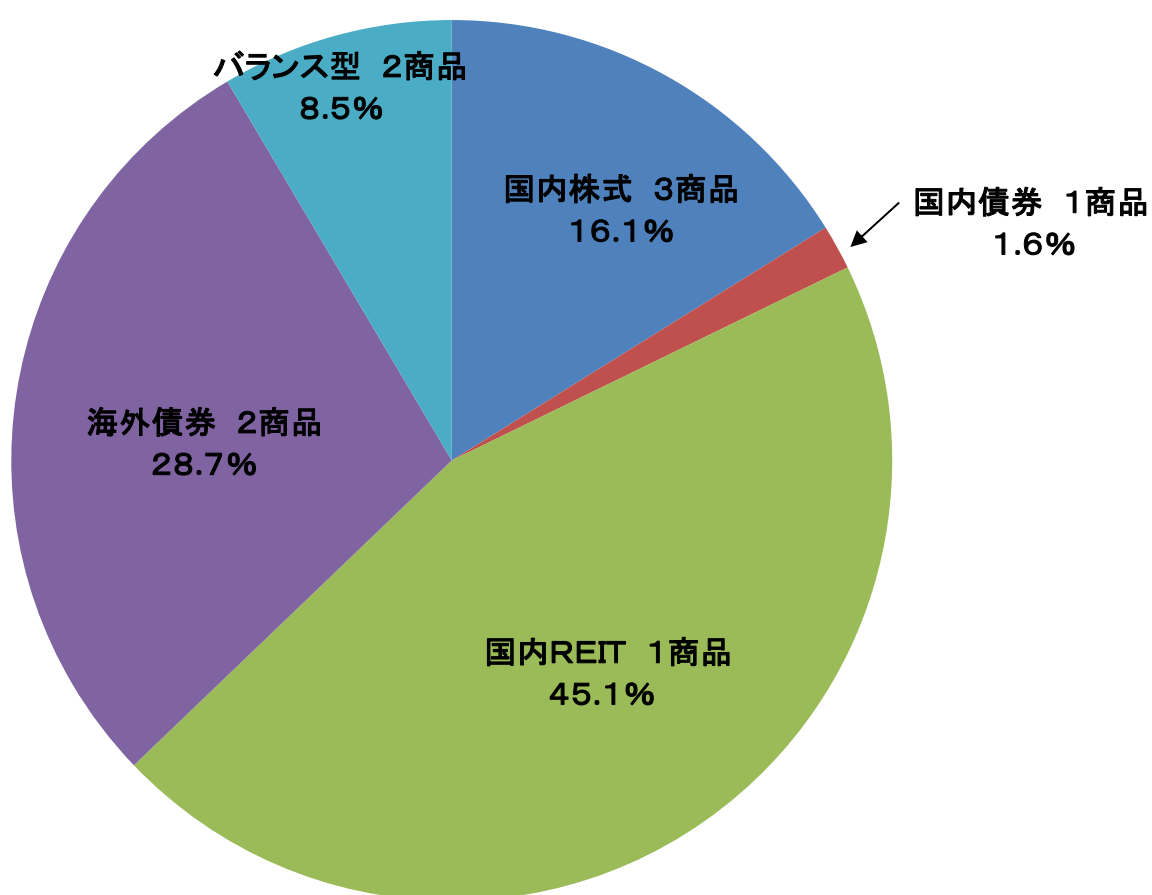
館林信用金庫

平成30年11月末現在

① 投資信託の取扱状況(自主的なKPI)

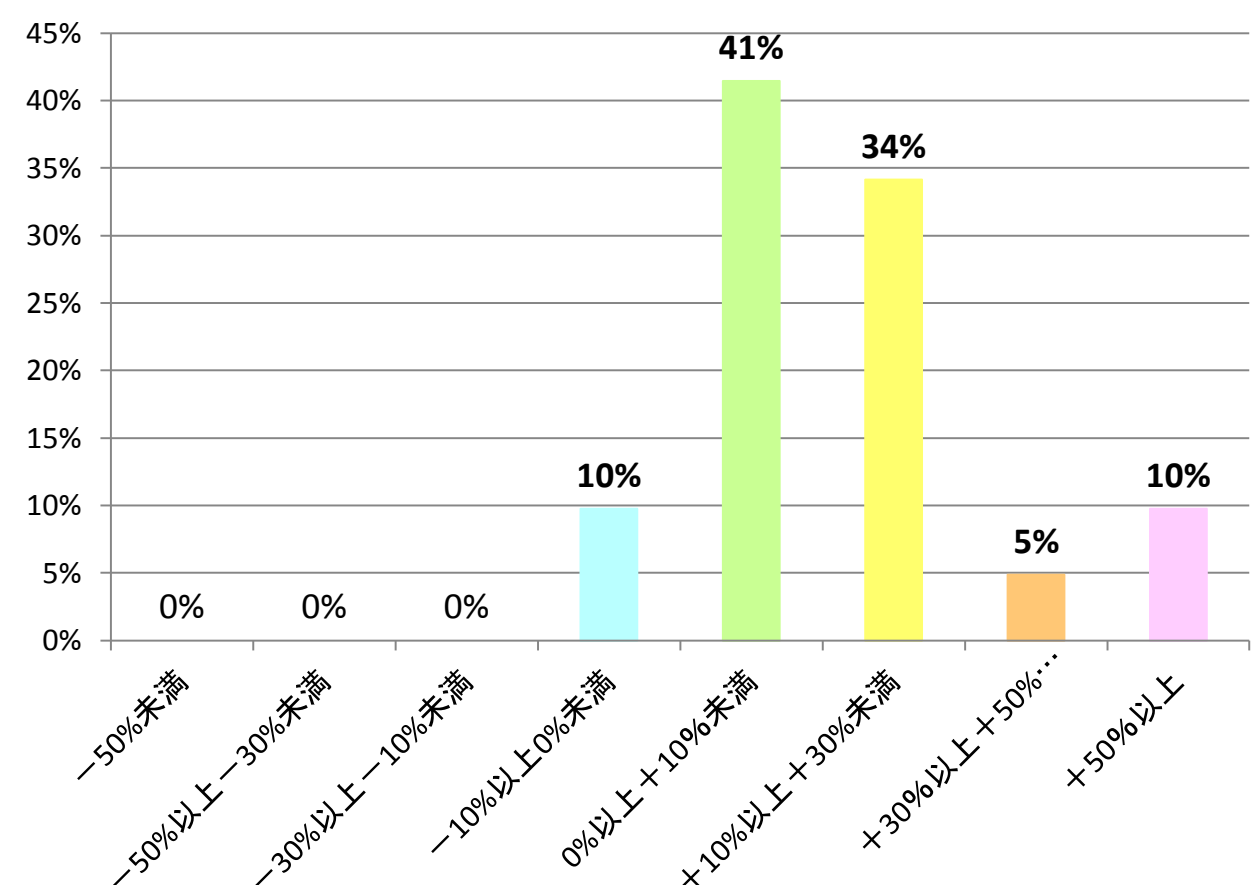
順位	主な投資対象	ファンド名	販売額(単位:千円)	販売額構成比	コスト	リスク	リターン
1位	国内REIT	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	125,359	45.1%	1.46%	13.31%	3.38%
2位	海外債券	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	55,774	20.0%	1.67%	7.59%	2.31%
3位	国内株式	しんきんインデックスファンド225	32,567	11.7%	0.86%	16.18%	12.55%
4位	海外債券	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	23,959	8.6%	1.51%	8.89%	-0.24%
5位	バランス型	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	21,275	7.6%	1.57%	8.19%	6.15%
6位	国内株式	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3か月決算型)	6,609	2.4%	1.51%	17.08%	7.99%
7位	国内株式	トヨタグループ株式ファンド	5,718	2.1%	1.07%	21.00%	10.27%
8位	国内債券	しんきん公共債ファンド	4,575	1.6%	0.65%	1.60%	0.58%
9位	バランス型	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	2,406	0.9%	1.81%	8.58%	3.75%
合計			278,246	100.0%	1.46%	11.43%	3.13%

② 投資信託の商品種類別販売額の構成比と取扱数(自主的なKPI)

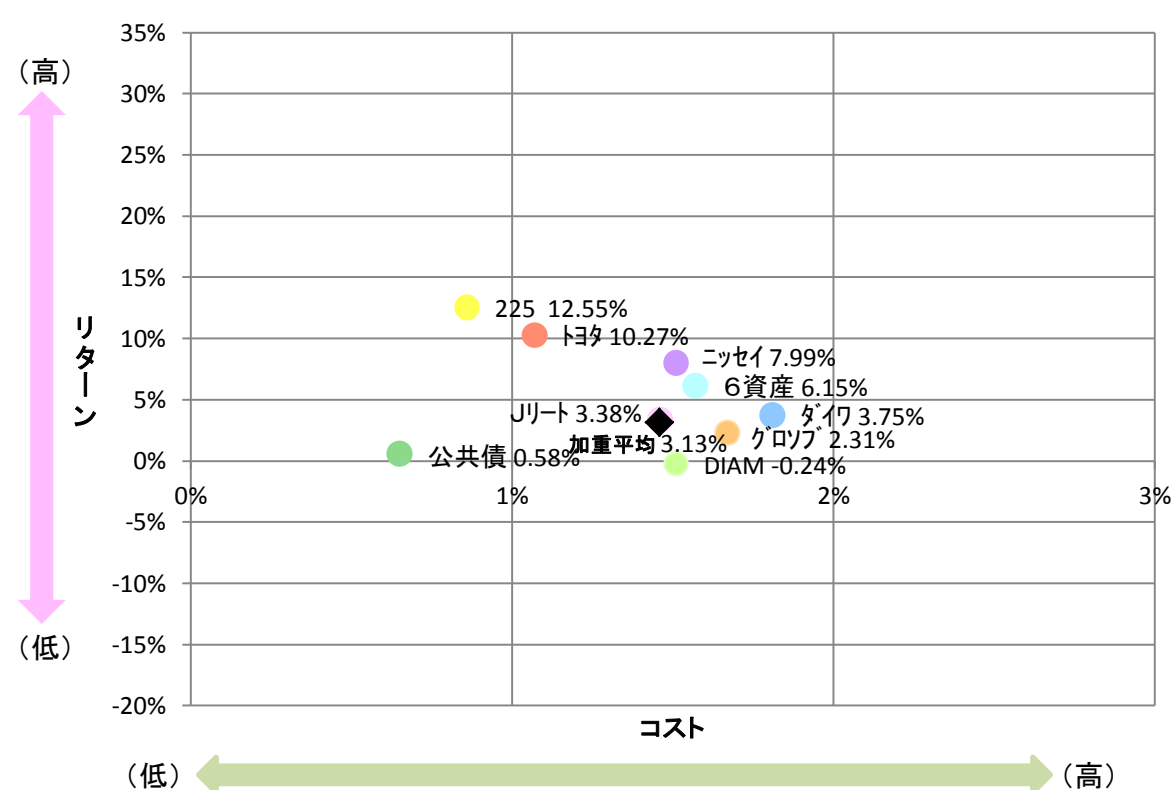


③ 投資信託の運用損益別顧客比率(自主的なKPI)

※ お客様の投資信託の損益状況をグラフにしたものです。



④ 投資信託のコストとリターン(自主的なKPI)

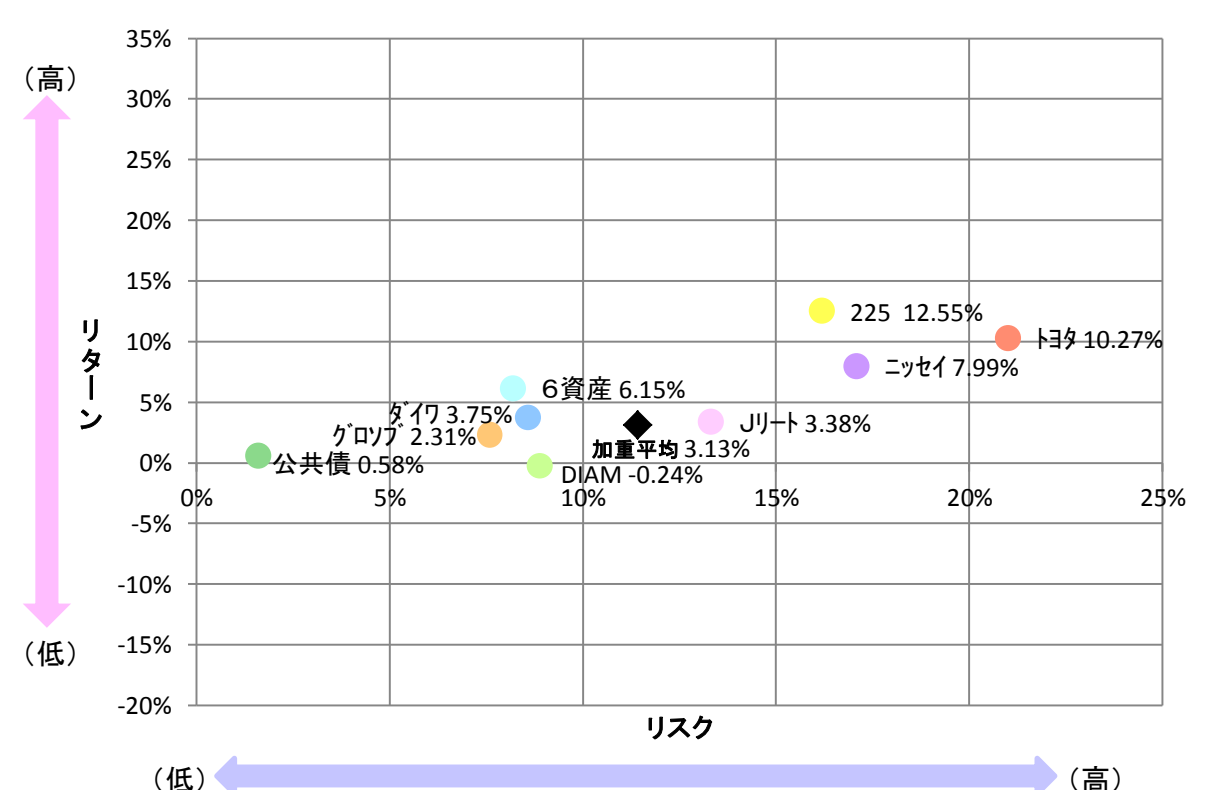


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.46%	3.13%

○ コストに対してリターンが10倍以上ある投資信託(225・トヨタ)がありますが、一方で、リターンがコストを下回る投資信託(DIAM・公共債)もあります。

(注1) 表中の%は、各投資信託のコストに対するリターンを表示しております。
 (注2) コストは販売手数料率(税込)と信託報酬率(税込)の合計値。
 (注3) リターンは過去5年間のトータルリターン(年率換算)

⑤ 投資信託のリスクとリターン(自主的なKPI)



残高加重平均値	リスク	リターン
	11.43%	3.13%

○ リスクの上昇に伴い、リターンも上昇する傾向にあります。

(注1) 表中の%は、各投資信託のリスクに対するリターンを表示しております。
 (注2) リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
 (注3) リターンは過去5年間のトータルリターン(年率換算)